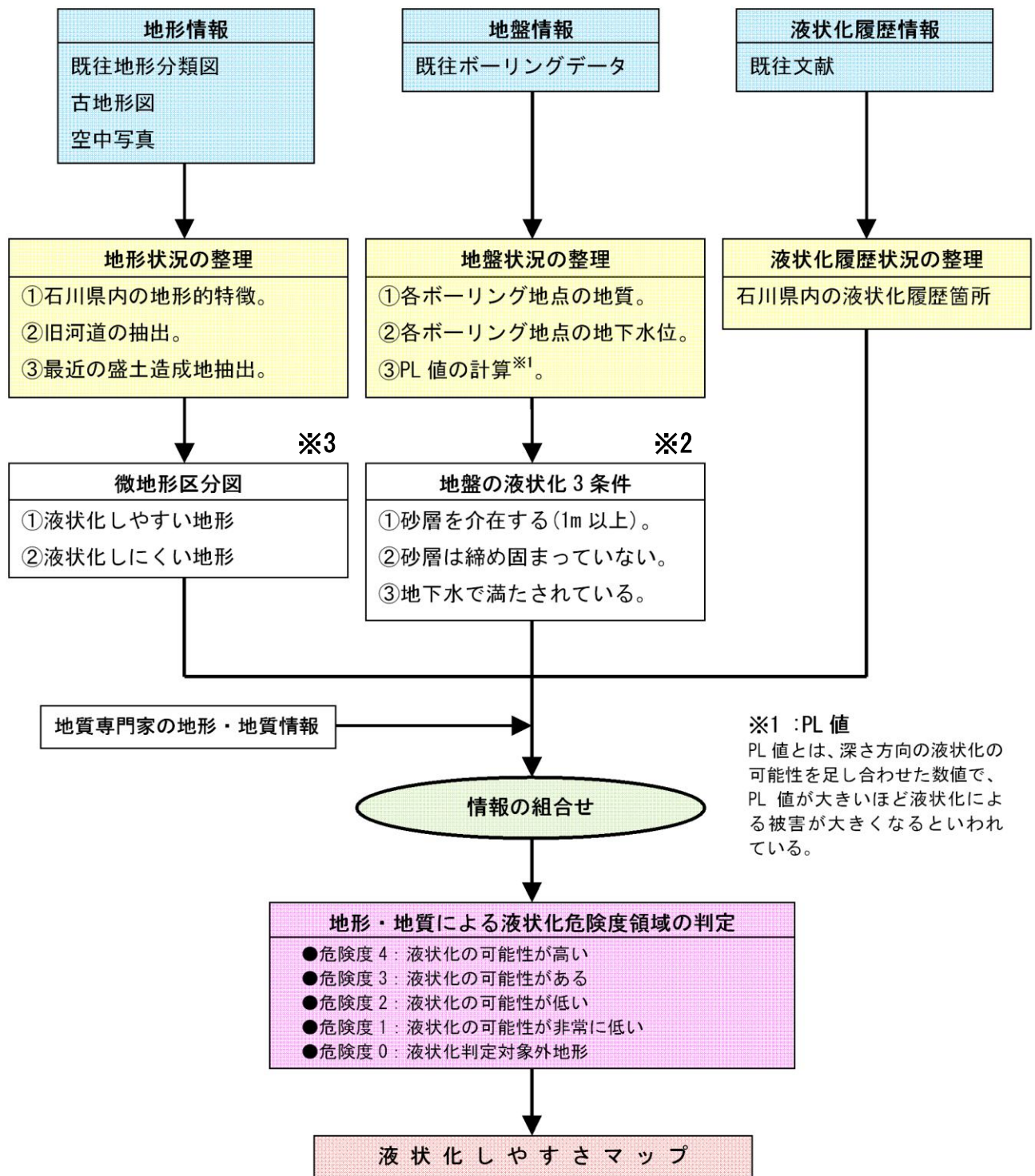


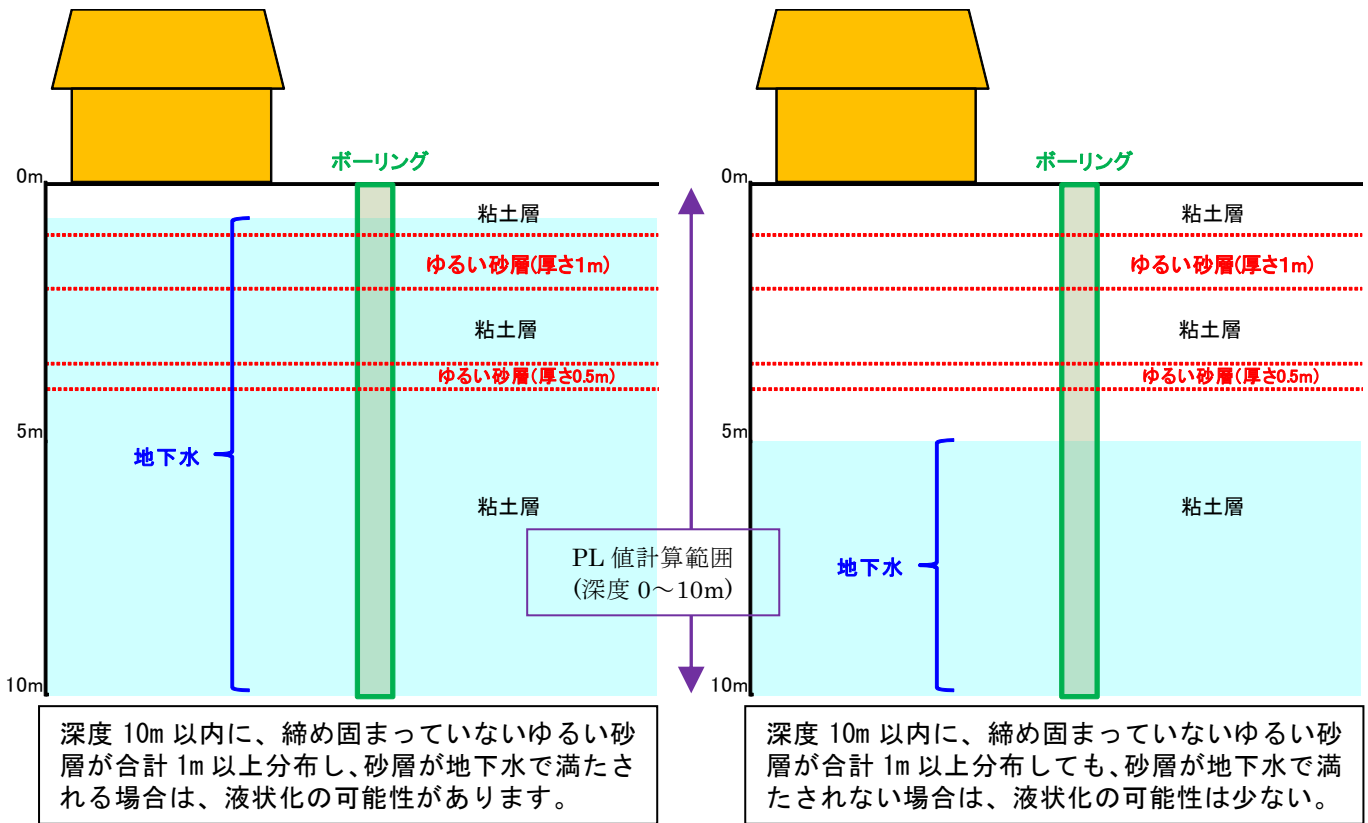
1章. 液状化しやすさマップ作成フロー

【概要】

- 地盤の液状化に関連する地形、地質及び液状化履歴についての資料を収集・整理してそれらの情報を組合せて液状化危険度を評価し、各危険度領域をマップとして表現しています。なお本マップでは、特定の震源による地震を想定せず、石川県内一律のゆれ(震度5強程度)を想定しています。
- 地形情報では、各種既往地形分類図を重ね合わせて微地形区分図を作成し、液状化しやすい地形及び液状化しにくい地形の分布を確認しました。また旧河道、最近の盛土造成地を古い地形図と空中写真を用いて抽出し、微地形区分図を補完しました。
- 地盤情報では、既往のボーリングデータを収集・整理して各ボーリング地点の地質と地下水位を整理し、液状化しやすい状況か否か(地盤の液状化3条件)を確認しました。

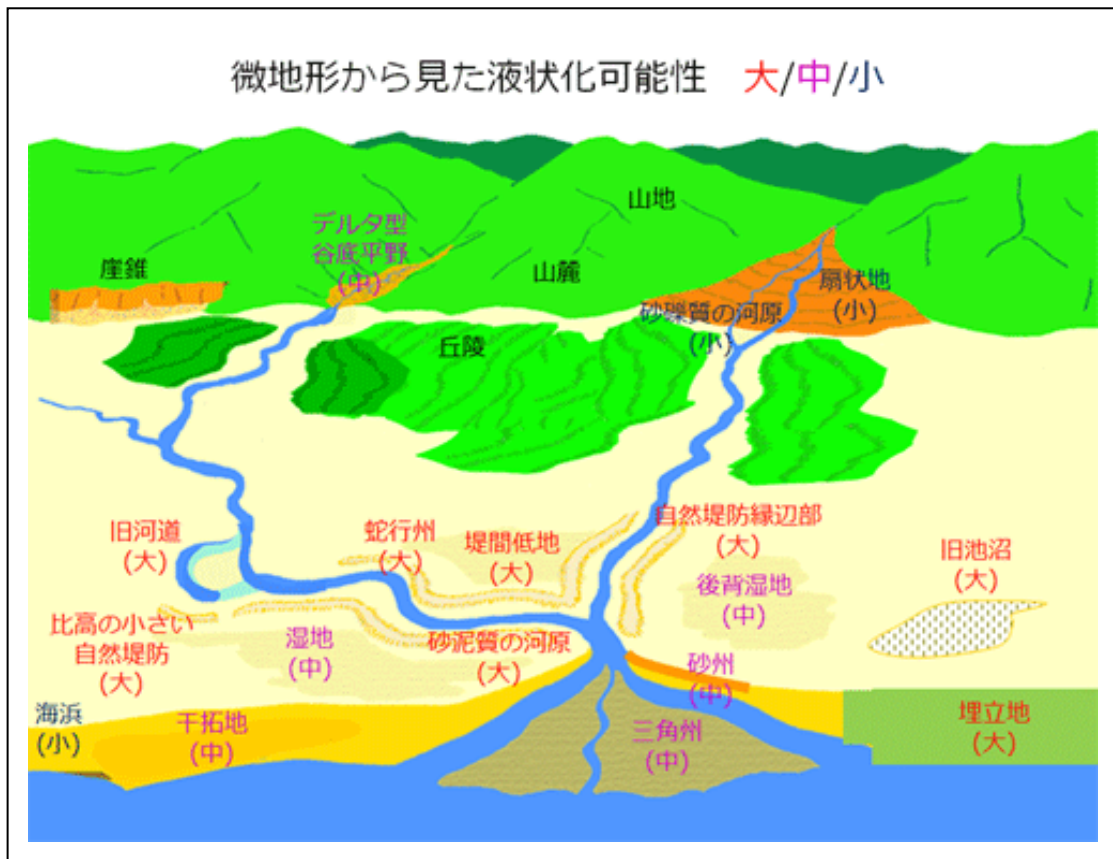


※2【既存ボーリングデータの地質状況による液状化の可能性参考図】



※文献 2)を参考に作成

※3【微地形による液状化の可能性参考図】



※文献 3)より転載